

VE 様式 2 号 (記入例)

番 号	1	項目内容	工の・・・を・・・に変更する。
-----	---	------	-----------------

(1) 設計図書と VE 提案の内容の対比

<p>【設計図書】</p> <p>概略図等</p> <p>工について、・・・</p> <p>(別添図 - 1 参照)</p>	<p>【VE 提案】</p> <p>概略図等</p> <p>工について、・・・</p> <p>(別添図 - 2 参照)</p>
--	---

(2) 提案理由

工について標準案では、・・・としている。しかし、施工の安全性の向上、工期の短縮及び工事費の縮減等が図られるため、・・・に変更する。

(3) VE 提案の実施方法 (材料仕様、施工要領等)

・・・  
 ・・・  
 ・・・  
 ・・・  
 ・・・

(別添資料 - 1 参照)

(4) 施工精度、品質 (品質保証書の添付等)

施工精度については、・・・に変更することによって、構造物本体には影響がないと考えている。

なお、・・・の施工精度、品質については、建設技術審査証明を取得済みである。

(別添資料 - 2 参照)

また、・・・は、J I S の規格品である。

(5) 施工実績 (年月、件名、発注者、規模等)

工事名	発注機関	工 期	規 模
国道 号 工事	国土交通省 地方整備局	H14.3 ~ H15.10	上部工 L=100m( 工法 ) 契約金額 千円

( 6 ) 施工条件 ( 土質、埋設物、作業用地、騒音・振動、工期等の制約 )

なし。

( 7 ) 安全性 ( 施工、使用材料、関係法規の遵守 )

・・・するので、標準案より安全性に優れる。(別添資料 - 3 参照)

( 8 ) 経済性 ( 工法等の経済性、工期の短縮による経済効果 )

・・・を・・・するため、・・・費、・・・費が安くなる。  
工期は、 日短縮できる見込みである。(別添資料 - 4 参照)

( 9 ) 機能性 ( 要求条件 )

本体構造物に変更はないので、機能性の問題はない。

( 10 ) 工業所有権等を含む V E 提案である場合、その取扱いに関する要望事項  
メーカーの特許工法であるが、特許料は工事費内に見込んでいる。

( 公開特許 ) 。別添資料 - 5 パンフレット参照)

( 11 ) V E 提案が採用された場合に留意すべき事項

特になし。

( 12 ) その他の事項 ( 環境対策、関連工事との関係等 )

本工法の採用により、建設発生土が抑制される。

注) 記入欄が不足する場合は、V E 様式 2 号の 2 として追記する。